



# 認定看護師会だより

2022年12月23日  
認定看護師会

NO.144

今回は、在宅療養を支える「訪問診療」についてお伝えします。

今月の便りは 訪問看護認定看護師 加藤浩子 (PHS: 3941) です

厚生労働省「人生の最終段階における意識調査 (2017年 一般国民)」

◆末期がんの状態でも最期の医療・療養を受けたい場所

自宅: 47.4% 医療機関: 37.5%

◆最期を迎えたい場所

自宅: 69.2% 医療機関: 18.8%



\* 実際は、病院で 81%の方がなくなり  
自宅は 13.9%と低い

<理由> ①介護してくれる家族に負担がかかる  
②症状が急変したときの対応に不安がある

◆病気や障がいを抱えていても、住み慣れた自宅で自分らしく生活したいという方が増えています。また、感染防止対策から入院すると面会制限があるため、「それならば自宅で家族と一緒に過ごしたい」と希望する方もいます。「訪問診療」を理解し、患者・家族の意向に沿った支援ができるようにしていきましょう◆◆◆

## 【訪問診療とは】

病院へ通院することが困難な患者に対して、医師が定期的に自宅を訪問して診療を行うサービスです。診療計画を立て、定期的に (例えば2週間に1回など) 自宅に訪問し、健康管理を行います。



## 【訪問診療の具体的な診療・処置内容】

- ・診察、血圧測定などの健康チェック
- ・点滴、投薬などの治療
- ・採血、検尿などの検査
- ・療養上の相談、指導
- ・人工呼吸器、酸素療法の管理
- ・経管栄養法、中心静脈栄養法の管理
- ・尿道留置カテーテル、腎瘻、ストーマの管理
- ・ターミナルケア、麻薬管理、在宅看取り など



富士市内には訪問診療を実施している医療機関が、30カ所位あります。

医療機関によって、行っている医療処置は異なります。詳しくは、富士市医師会のホームページを参照してください

## 【訪問診療のメリット】

- ・**通院の負担軽減** → 往復の移動、病院や調剤薬局での待ち時間がなくなり、身体的負担が軽減できる  
通院に付き添っていた家族や介護者の負担も軽減できる
- ・**24時間365日体制の対応** → 定期的な訪問に加え、夜間や休日なども含め、24時間365日体制で電話での指示や往診の対応が可能のため、緊急時にも安心
- ・**ワンストップで相談できる** → 診察や治療だけではなく、予防接種や薬の処方、栄養状態の管理も含まれ  
体調に関わることであれば相談できる

## 【訪問診療にかかる費用】

基本的には、「基本診療費」「追加加算される診療費」「医療費負担割合」を基に決められています。

訪問回数、治療内容によって費用が異なります。

<医療保険において、1ヶ月に2回の訪問診療で院外処方箋を交付する場合>

1割負担でおおよそ7,000円、3割負担でおおよそ20,000円

